

令和4年8月30日

一般財団法人日本米穀商連合会 御中

全国農業協同組合中央会

全国農業協同組合連合会

持続可能な米の生産に向けて（要請）

拝 啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃JAグループ米穀事業につきまして、格別のご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、コロナ禍に端を発する需給緩和にともない、令和2・3年産米の価格が大幅に下落し、米生産地での営農継続が困難な状況に陥っています。また、海外原料価格高騰や急激な円安進行等による生産資材価格高騰が、農業経営圧迫に追い打ちをかけている状況です。

さらに、近年の気候変動や国際紛争等により、穀物の生産・流通が世界的に不安定になっており、食料安全保障の観点からも、消費者・生産者の双方にとって、国内の生産基盤の維持がこれまで以上に重要になっています。

上記をふまえ、生産現場においては、需要に応じた作付けを進めるとともに、堆肥等国内資源の活用、土づくり、土壌診断による適正施肥、国による資材高騰緊急対策の活用など、コスト抑制の取組みを進めてまいりますが、持続可能な米の生産・供給のためには、再生産可能な適正な価格形成が必要です。

そのため、JAグループでは、適正価格の形成と国産米の消費拡大について、実需者や消費者の皆様へご説明をすすめてまいりますので、貴連合会におかれましても、下記の要請内容についてご理解をいただくとともに、貴連合会会員にもご共有いただくようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 持続可能な米の生産に向け、営農継続可能な生産者の手取り確保につながる適正な価格形成へのご理解をお願いします。
2. 米生産者のおかれている実情を貴連合会会員とご共有いただき、商談価格への反映に向けたご理解を促していただくとともに、国産米の消費拡大のはたらきかけにご協力賜りますようお願いいたします。

以 上